

The background features a dark blue and purple gradient with a grid pattern. In the center, there is a collage of logistics-related images: an airplane flying in the sky, a cargo ship at sea, a port crane, and several trucks on a road. On the right side, there are stacks of shipping containers.

第7回 物流交流会

2026/5/15

MACNICA

マクニカ会社案内

macnica

マクニカ概要

タネ●まく、 MACNICA

設立
1972年

グループ売上
1兆円

※2024年度実績

従業員
5,000名

拠点
28か国91地域

VAD*モデル

半導体、ネットワーク製品など
世界中から集めた最先端テクノロジー提供



サービス・ソリューションモデル

お客様の課題を解決する幅広い
サービス・ソリューション



*VAD = 高付加価値ディストリビューションモデル

AT A GLANCE

売上高
10,342億円
(FY2024)

**半導体商社
国内シェア
(CY2025)**
第1位
(ガートナー調べ※)

**グローバル
ネットワーク**
28の国と地域・
91拠点

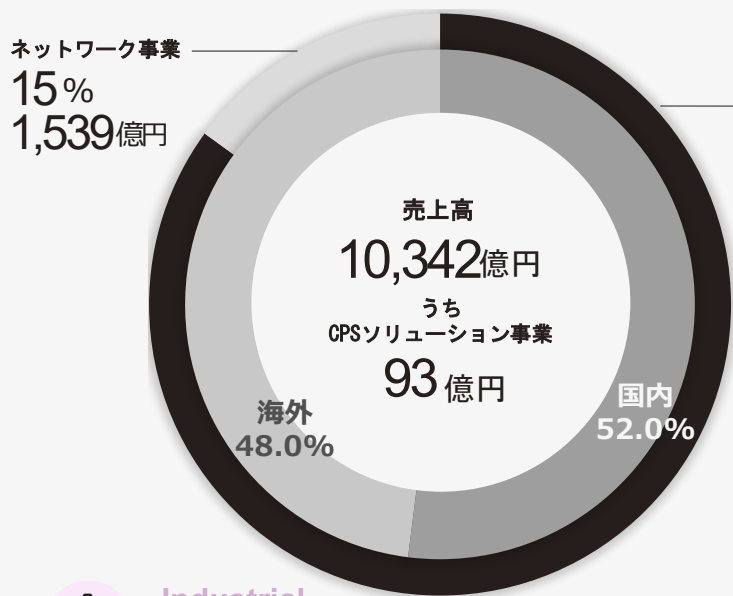
従業員数
5,071名
(2025年3月31日時点)

**エンジニア
従業員の数**
3人に1人

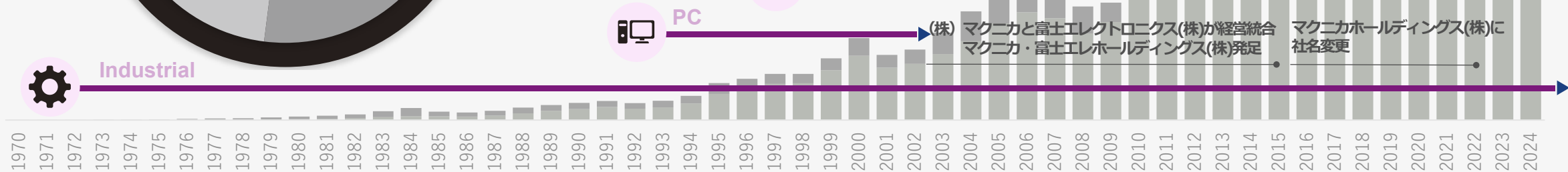
時価総額
3,219億円
(FY2024決算発表日時点/
自己株調整後)

※Source: Gartner@Market Share: Semiconductor Distributors, Worldwide, 2025; Masatsune Yamaji, 21 February 2026, Revenue Basis (免責部分は、P6に掲載)

売上高構成比



集積回路及び
 電子デバイス
 その他事業
85%
8,803億円



1972年 マクニカの誕生 > 世界の先端技術を日本のモノづくりに活かす > 海外と日本の壁を取り払う「こんなものを作りたい」 > 半導体・IT機器・ソフトウェアに求められる質の高い技術サポート > 最先端のテクノロジーを組み合わせた提案・販売 > 新たなニーズに対応し、変化開始

経営理念 Vision

豊かな未来社会の実現に向けて、世界中の技と知を繋ぎ新たな価値を創り続ける
サービス・ソリューションカンパニー





車両/貨物の位置追跡・状態監視サービス



macnica
TRACKS[®]

MACNICA

背景/課題

- ① 物流業界における労働力不足
- ② コールドチェーン市場での温度/品質管理要求の高度化
- ③ 物流効率化法改正への対応

背景/課題 ①物流業界における労働力不足

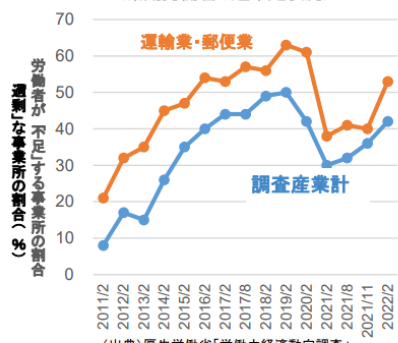
ドライバーの高齢化に加え、時間外労働の上限規制に伴うドライバー不足「2024年問題」など、全産業と比較しても物流業界全体の労働力不足は深刻な状況にあり、物流全体の効率化の加速が求められている

1. (1) 物流の現状 トラックドライバーの働き方を巡る状況

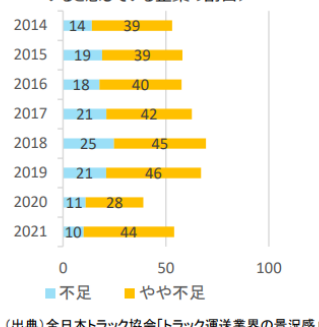
- 物流分野における労働力不足が近年顕在化しており、トラックドライバーが不足していると感じている企業は増加傾向。
- 年齢構成は全産業平均より若年層と高齢層の割合が低く、中年層の割合が高いほか、労働時間も全産業平均より約2割長い。

人手不足

<常用労働者の過不足状況>



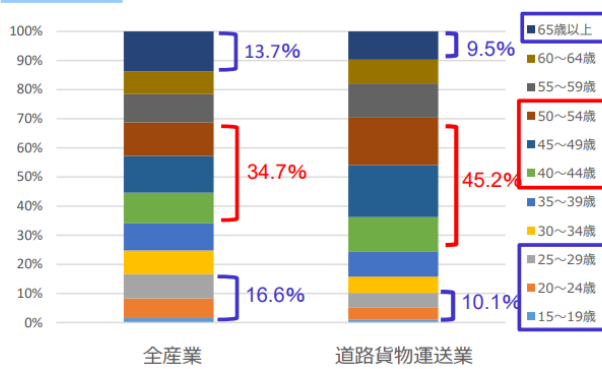
<トラックドライバーが不足していると感じている企業の割合>



(出典)厚生労働省「労働力経済動向調査」

(出典)全日本トラック協会「トラック運送業界の景況感」※各年の第2四半期(7月~9月)の数値を掲載

年齢構成

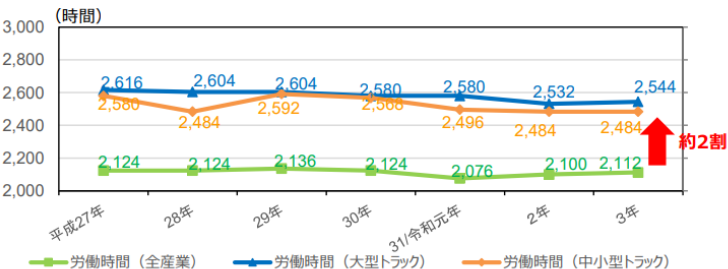


全産業

道路貨物運送業

(出典)総務省「労働力調査」

労働時間



(出典)厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

(参考) 鉄道貨物協会H30報告書におけるトラックドライバー需給予測

- 2028年度の営業用トラック輸送量と営業トラック分担率の予測値から、ドライバー需要量を予測→2028年度：約117.5万人
- 将来人口予測からドライバーの供給量を予測→2028年度：約89.6万人
- 上記を踏まえると、2028年度には約27.8万人のドライバー不足が予測される。

※参考URL
<https://rfa.or.jp/wp/pdf/guide/activity/30report.pdf>

背景/課題① コールドチェーン市場での温度/品質管理要求の高度化



医薬品

GDP

(医薬品適正流通基準)

HACCP

(危害要因分析・重要管理点)



食品

コールドチェーン温度/品質管理 現状の課題

抜け漏れなどヒューマンエラーが起きる	37.3%
データの保管・管理が煩雑になる	36.1%
現場担当者が確認を行うため、負担が大きい	32.5%
温度異常に即座に気付けない	25.3%
温度管理表の集約作業が負担	22.9%
一定の温度管理が難しい	21.7%
輸送・保管温度のリアルタイム監視	20.5%
荷主への温度管理報告が難しい	16.9%
休日・夜間の自動温度計測	14.5%
温度情報と位置情報のログデータの自動取得・保管	8.4%
その他	1.2%
課題は一切ない	3.6%
わからない/答えられない	10.8%

コールドチェーン温度/品質管理 現状の課題

抜け漏れなどヒューマンエラーが起きる	37.3%
データの保管・管理が煩雑になる	36.1%
現場担当者が確認を行うため、負担が大きい	32.5%
温度異常に即座に気付けない	25.3%
温度管理表の集約作業が負担	22.9%
一定の温度管理が難しい	21.7%
輸送・保管温度のリアルタイム監視	20.5%
荷主への温度管理報告が難しい	16.9%
休日・夜間の自動温度計測	14.5%
温度情報と位置情報のログデータの自動取得・保管	8.4%
その他	1.2%
課題は一切ない	3.6%
わからない/答えられない	10.8%

現場担当者への
作業負担



リアルタイムの
データ監視



取得データの
報告・保管



コールドチェーン温度/品質管理 現状の課題

抜け漏れなどヒューマンエラーが起きる 37.3%

データの保管・管理が煩雑になる 36.1%

現場担当者が確認を行うため、負担が大きい 32.5%

温度異常に即座に気付けない 25.3%

温度管理表の集約作業が負担 21.7%

一定の温度管理が難しい 20.9%

輸送・保管温度のリアルタイム監視 16.9%

荷主への温度管理報告が難しい 14.5%

休日・夜間の自動温度計測 8.4%

温度管理ログデータの自動取得・保管 1.2%

その他 3.6%

わからない/答えられない 10.8%

現場担当者による アナログ管理

現場担当者への
作業負担



リアルタイムの
データ監視



取得データの
報告・保管



背景/課題② 物流効率化法改正

2025年度～ 物流効率化に向けた取り組みが義務化

物流効率化に向けた取組 3点



積載効率の向上



荷待ち時間の短縮



荷役等時間の短縮

2026年度～ 一定規模以上の「特定事業者」は、中長期計画の策定や定期報告などが義務化

これまで運送事業者中心だった責任が、荷主にも拡大
現状を定量的に把握し、“説明できる状態”が義務化

背景/課題② 物流効率化法改正：現状把握が困難

- ① 荷主がデータを直接取得できない
 - ・ 自社システムで荷待/荷役を把握できない
 - ・ 運送会社任せになっている（運送会社からの共有も困難）
- ② アナログ管理によりデータ精度が低い
 - ・ 紙伝票・手書き記録
 - ・ ドライバー依存、後追い入力
- ③ 情報が分散し統合・分析ができない
 - ・ 運送会社ごとにフォーマットが違う
 - ・ 拠点ごとに管理方法が異なる

**人に依存せず、物流の実態を自動取得・可視化し、
一元管理できる仕組みが必要**

現状のロガー/トラッキングシステムの課題

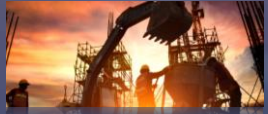
	トラッカータイプ (位置のみ)	ロガータイプ (センサーのみ)	マルチセンシングタイプ (位置+センサー)
位置情報	◎	×	○
温湿度, 衝撃, 照度	×	◎	○
使用可能エリア※1	△	○	△
リアルタイム性	○	△	○
大きさ	○	○	△
電池持ち	△	○	△
コスト	○	○	△

※1 全世界 / 日本国内の使用できる範囲、LTE 通信を使用する場合、契約内容次第で海外で使用ができないものもある

Macnica Tracks®ができること



主な活用シーン



建設



工場



ヘルスケア



リテール



物流



郵送



宅配

位置情報取得



Wi-Fi



GNSS



LTE

ドライバーの現場作業不要!!
簡単設置・簡単共有!!

各状況をモニタリング



Qualcomm社 モニタリング端末
(QTSシリーズ)

LTE

マクニカクラウド
端末からのデータ集約

マクニカ
ダッシュボード



クラウドへのデータ送信～ダッシュボード表示まで

全て自動化

各センサー情報取得



温度



湿度



気圧



位置



照度



衝撃

データ測定

リアルタイム管理を実現

MACNICA



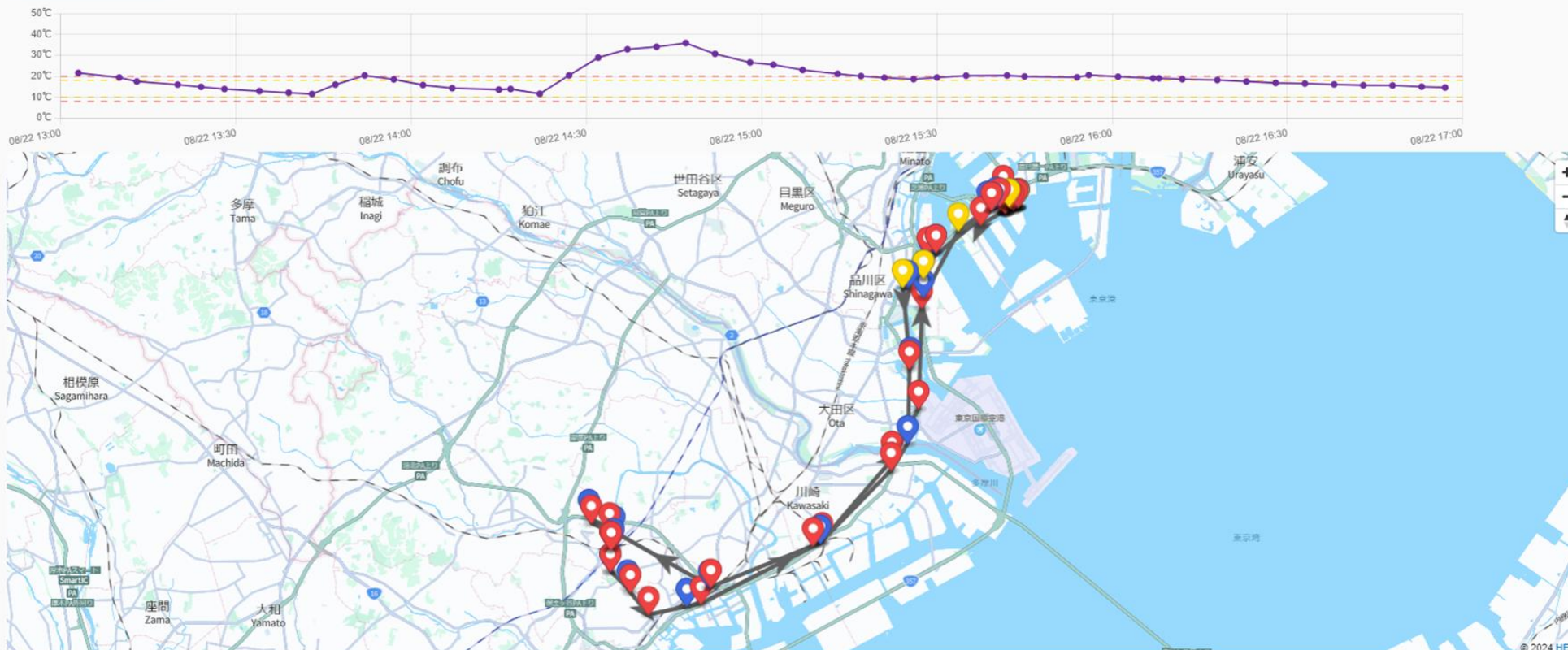
← TRK000010905

最終更新日時: 2024/08/30 17:59 75%

対象期間 (開始) * 2024/08/22 13:00 ~ 対象期間 (終了) * 2024/08/22 17:00 検索

↓ CSVエクスポート (BOM付)

14.6 °C 温度 <small>2024/08/22 16:57</small>	36.1 % 湿度 <small>2024/08/22 15:02</small>	気圧 <small>2024/08/22 16:12</small>	13.2 lx 照度 <small>2024/08/22 16:12</small>	傾斜 <small>2024/08/22 16:12</small>	落下 <small>2024/08/22 16:12</small>	動作 <small>2024/08/22 16:12</small>	明暗 <small>2024/08/22 16:12</small>	衝撃 <small>2024/08/22 16:12</small>
---	--	---------------------------------------	---	---------------------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------



配送情報

- ダッシュボード
- デバイス情報
- デバイス設定
- 配送情報
- 配達済止
- 検定サンプル
- アカウント管理
- ログ管理
- デバイス設定

配送情報

出発地 到着地 経由地

出発日（出発予定日含む）範囲指定

対象期間（開始）

2024/11/11



対象期間（終了）

2024/11/18



到着日（到着予定日含む）範囲指定

対象期間（開始）

対象期間（終了）

🔍 検索

No.	配送名	配送ステータス	アラート	配送経路と現在位置	デバイス名	操作
1	手塚テスト1	完了	センサーアラート 2024/11/18 08:45:26	2024/11/18 08:05 出発 茅ヶ崎東小学校 ↳ 経由 1地点 2024/11/18 08:30 到着 マクニカHQ 現在位置 センサーアラート取得開始時間：2024/11/15 11:04 未到着：1地点 到着済：0地点	手塚テスト中	🔔 アラー
2	テスト1112	完了	センサーアラート 2024/11/12 12:49:16	2024/11/12 12:39 出発 三枚町周辺 ↳ 経由 1地点 2024/11/12 12:46 到着 マクニカHQ 現在位置 センサーアラート取得開始時間：2024/11/12 12:34	TRK000012715	🔔 アラー
3	テスト2	完了	センサーアラート 2024/11/11 15:28:56	2024/11/11 15:20 出発 三枚町周辺 ↳ 経由 2地点 2024/11/11 15:34 到着 片倉町駅 2024/11/11 15:59 到着 東神奈川駅 2024/11/11 16:19 到着 川崎駅 現在位置 センサーアラート取得開始時間：2024/11/11 15:24 未到着：1地点 到着済：1地点	TRK000012715	🔔 アラー

高機能

複数の通信&センサーを搭載



位置情報取得



Wi-Fi



GNSS



LTE

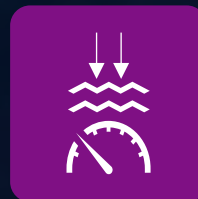
各センサー情報取得



温度



湿度



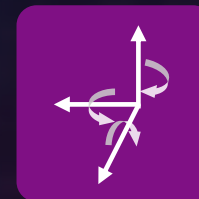
気圧



位置



照度



衝撃

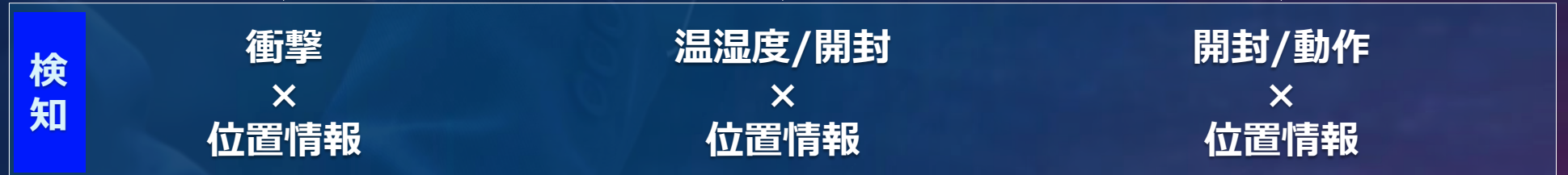
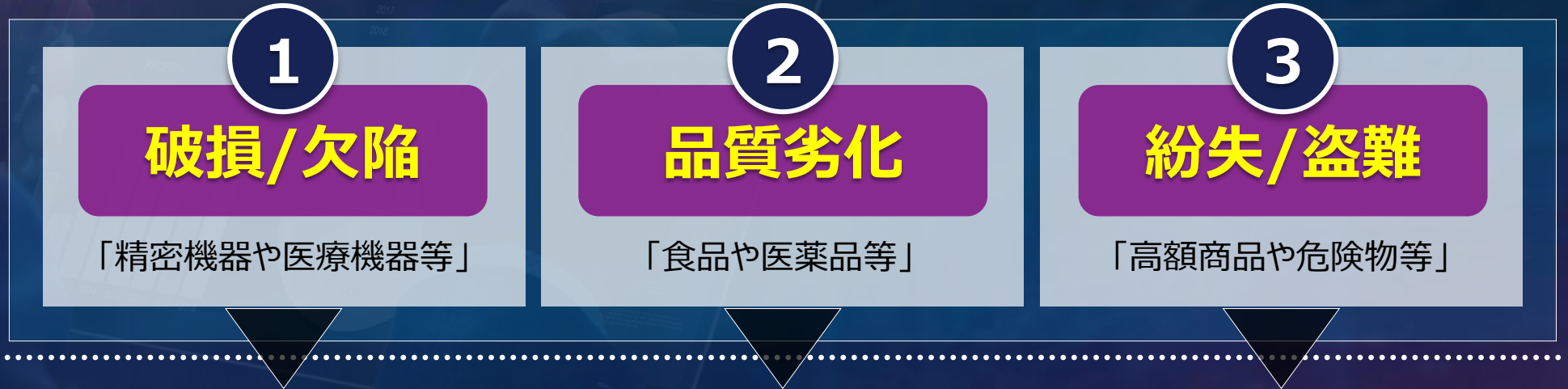
温度/品質管理 + 衝撃/落下検知/盗難防止も実現

3大リスクが起きた際の“Macnica Tracks®”による対策

輸送中、「いつ・どこで・何の異常が起きたか？」を常時見守り！



リスク



異常時：アラート通知⇒初動対応・対策が可能に

常時:データ蓄積

高機能

国際輸送にも追加費用なしで対応!!



グローバルSIM内蔵
海外200カ国以上



最大100日程度
連続動作可能

※使用例:15分毎計測 & 1時間毎にデータ送信の場合



フライトモード搭載
自動で電波のon/off

**通信費込みの金額設定で
追加料金無く契約後すぐに使用可能!!**

現状のロガー/トラッキングシステムの課題 → Macnica Tracks

	トラッカータイプ (位置のみ)	ロガータイプ (センサーのみ)	マルチセンシングタイプ (位置+センサー)	Macnica Tracks® (QTS110)
位置情報	◎	×	○	○
温湿度, 衝撃, 照度	×	◎	○	○
使用可能エリア※1	△	○	△	◎
リアルタイム性	○	△	○	○
大きさ	○	○	△	○
電池持ち	△	○	△	◎
コスト	○	○	△	◎

※1 全世界 / 日本国内の使用できる範囲、LTE 通信を使用する場合、契約内容次第で海外で使用ができないものもある

MACNICA

- ・本資料に記載されている会社名、商品またはサービス名等は各社の商標または登録商標です。なお、本資料中では、「™」、「®」は明記していません。
- ・本資料のすべての著作権は、第三者または株式会社マクニカに属しており、(著作権法で許諾される範囲を超えて) 無断で本資料の全部または一部を複製・転載等することを禁じます。
- ・本資料は作成日現在における情報を元に作成されております。その真実性、正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料によって直接的、間接的な損害等に関する責任を負うものではありません。